

平成20年8月30日発行

# 小鹿地域協議会だより

発行:小鹿地域協議会 e-mail: [oshika@town.misasa.tottori.jp](mailto:oshika@town.misasa.tottori.jp)

◎ 3ヶ月ぶりの発行となります。最近の小鹿地域協議会の出来事を写真で紹介します。

▶ 6月：河原町北野地区交流会。尾崎さん（西小鹿）が優勝！



↑ 西郷地区の選手団を拍手で迎える



↑ 記念撮影

▶ 7月：小鹿川と親しむ会。100人を超える参加者がありました。



↑ 多くの参加者で賑やかなイベントとなりました。



▶ 8月：恒例「盆ソフトボール大会」優勝は吉田チーム！！



↑ 決勝戦は吉田チームの圧勝！！

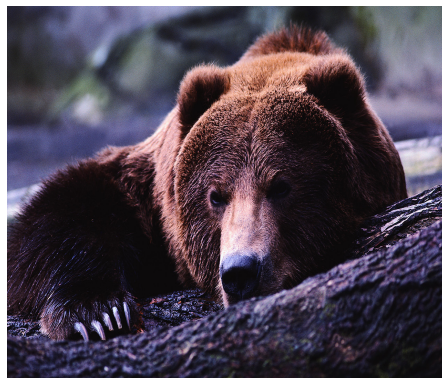


◎ 11月2日に小鹿の「収穫祭」を開催します

3年ぶりの開催が検討されている小鹿まつりは、7月に開催された役員会で11月2日に開催されることに決定。テーマは「収穫祭」です。今年の収穫に感謝し、地域のみなさんとともにこの1年を振り返り、秋の稔りを祝いたいと思います。地域のみなさんがひとりでも多く参加していただき、交流できるイベントにしたいと思います。よろしくお願ひします。

◎クマ・イノシシに注意！！あなたの予防対策は間違っていないですか！！

実りの秋を迎え、クマやイノシシによる農作物への被害が発生する恐れが高まっています。なかでもクマは、集落周辺への出没が昨年より増加する傾向にあり、今一度、対策の徹底をお願いします。ここでは「クマ対策」を取り上げます。集落周辺にクマを近づかせない(里グマ化させない)ためには、先ず、果樹園や畑への侵入防止対策を実施してください。



【被害対策のポイント】

●侵入防止柵を設置する

⇒「金網柵、ワイヤーメッシュ柵、トタン柵、ネット柵」は登られるか壊される恐れがあり、電気柵もしくは電気柵を用いた複合柵が効果的です。電気柵は必ず電圧チェック等を行い、効果を確かめてください。

●侵入可能箇所をなくす

⇒ナシ柵のワイヤーや周辺の木などを伝い果樹園内に侵入します。侵入防止柵の設置に加え、クマが侵入しづらい環境をつくるのが大切です。

●引き寄せ要因をなくす

⇒果樹園にクマ等を引寄せないように、落果や摘果を処分する。

(果樹園内や果樹園周辺への放置や遺棄は行わない)

※クマの「馴れ」の生じる行為は行わない。

⇒光や音、匂いを用いた対策は効果がありません。

夜間ラジオを流しっぱなしにしていると、昼間に人がつけるクマ鈴やラジオに対する忌避効果がなくなります。

【畑に行くときの注意事項】

- ① 軽トラで果樹園に行く時は、果樹園近くに停車しクラクションを鳴らし、車内から様子を見る。
- ② 下車後大声を出さず、鈴を鳴らす等しながら、果樹園に近付く。
- ③ 電気柵を設置している場合は、電気柵の電源を切る。(クマが果樹園から逃げ出しやすくなります)
- ④ 果樹園に入る前に、園内(特にナシ柵の上)を確認して、クマがいないか確かめる。
- ⑤ 作業中は鈴やラジオをつけて、人の存在を知らせるようにする(鈴やラジオの常設は効果がなくなる)。特に、薄暗い朝晩はクマの活動が活発になり、注意が必要です。万が一クマに遭遇した場合、「死んだ振り」や「走って逃げる」等の行為は厳禁です。

◎農機具の盗難に注意してください

町内で農機具の盗難が発生しました。稲刈りの時期を向かえ、圃場で作業をする時間が多くなりますが、農機具の管理を徹底して盗難には十分注意しましょう。

◎9月のお知らせ

■9月6日(土) 三朝中学校運動会

■9月7日(日) 東小校区秋季大運動会

◎編集後記

編集時間がなく久しぶりの発行になってしまいました。申し訳ございません。地域協議会の活動も2年目となります。今の時代なかなかいそがしく、思うようにできないのが辛いところですが、せかせかしないで小鹿のために「できること」を実行し、楽しむことこそ小鹿地域協議会の目指すところです。(と勝手に思っています)記事にはしませんでした。朝市グループの皆さんに研修会と称して集まっていた。いただき、ブランチみささでゆっくりいただきました。

皆さん、収穫の秋ですが、あくせくせず、のんびり頑張りましょう。



バンビセンターを利用される方は、役場地域振興課へ予約をお願いします。

地域主事：佐々木敦宏  
藤井紀好

電話：43-3515(直通) FAX：43-0647  
Eメール：oshika@town.misasa.tottori.jp